

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ さんろくや 株式会社 三六屋	団体ウェブサイトURL	
代表者職・氏名	代表取締役 阿部 洋介		
制作団体所在地	〒 123-0841	最寄り駅(バス停)	西新井大師西 駅
	東京都足立区西新井6-46-6		
電話番号	03-5691-0160		
ふりがな 公演団体名	つがるじゃみせん あべや 津軽三味線 あべや	団体ウェブサイトURL	
代表者職・氏名	阿部金三郎		
公演団体所在地	〒 123-0841	最寄り駅(バス停)	西新井大師西 駅
	東京都足立区西新井6-46-6		
制作団体 設立年月	2010年9月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役社長 阿部洋介 役員 阿部人斎 役員 阿部園美	役員:3名 従業員:4名 出演者:15名	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	五木田 竜
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	阿部 園美
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:abeya@sanrokuya.co.jp">abeya@sanrokuya.co.jp</a>		

制作団体沿革

株式会社 三六屋

株式会社三六屋は日本の伝統芸能、郷土芸能の発展と普及に努めるべく組織されました。国内外問わずその可能性を広げ様々なアプローチでその芸術や情報を発信しています。公演活動のサポートはもちろん音楽の指導、教育にも力を入れており様々なジャンルの芸能を幅広い層に広めるべくレッスン活動も大きな規模で展開。代表をはじめ社員構成員も若き人材を有しその力と才能を結集し、従来にはない発想で現代における伝統芸能のあり方進め方を演奏者と共に意見を交えながら作り上げていくスタイルは三六屋の最大の特徴です。また独自で立ち上げたプロジェクト「HINOARHYTHM」はパンフレット、ホームページはもちろん公演全体を全て英語で行うという新感覚の公演、ワークショップを行い言葉や国を問わず楽しめる伝統芸能のグローバル化を計るプロジェクトとして精力的に公演活動を実施しています。また革新的な取り組みと合わせて、先人が培った芸能は崩さず壊さず伝統を守り継いでいき、進取と温故知新の精神で伝統芸能の新しい「時代」をつくるプロフェッショナルチームです。

- 2014年 日・カリブ交流年事業公演達成
- 2016年18年 「HINOMARHYTHM」開催
- 2018年 津軽三味線・民謡団体「三乃会」と統合
- 2019年 高知よさこい楽曲提供
- 他CD出版多数

津軽三味線 あべや

津軽三味線全国チャンピオン 阿部金三郎・銀三郎兄弟を中心に結成された津軽三味線、民謡を中心とした日本民俗音楽芸能集団。古来より日本人が培ってきた魂の音をメンバー独自の構成で表現し、忘れかけていた日本の音の力、日本人の感性を呼び覚ます舞台を届ける。ただ音楽を聞くのではなく心躍り楽しませるといったエンターテインメント性を重視した舞台には「笑い」「感動」「躍動」様々な転結を兼ね備え、見ている人を飽きさせない。躍動溢れる津軽三味線の旋律、どこか懐かしい民謡(うた)い、尺八のもつ日本古来の威風堂々とした音艶に、華やかな踊りが舞台を染める。若さ溢れる演者の表情から一転した演奏表現は至高の作品である。2012年にはアメリカ6都市で公演ロサンゼルス、ポートランド、デンバー、ハワイ、シアトル、サンフランシスコ、UCLA(カルフォルニア大学ロサンゼルス校)とハワイ大学にて津軽三味線民謡ワークショップ開催。2013年イギリス公演、2014年中南米ツアー(ジャマイカ、ハイチ、ペルー)と、近年活躍の場を海外へも広げている。世界数10カ国の公演を通して感じてきた日本の音の力を確信した、あべや独自の思想論「HINOMARHYTHM」は日本人が育んだ音の響きを世界中に届けるということを基礎に、世界を震撼させることで日本人が本当の「日本の力」を再認識するというプログラムでありそれを掲げる。若き才能がぶつかりあう魂の舞台を、日本・世界のステージで展開している。

<p>学校等における 公演実績</p>	<p>平成23年度： 20公演  平成24年度： 20公演  平成25年度： 25公演  平成26年度： 78公演(内文化芸術による子供の育成事業は16公演)  平成27年1月20日 島根県立出雲養護学校で派遣事業を実施。  平成27年度： 81公演(内文化芸術による子供の育成事業は17公演)  平成27年11月27日 宮崎県都城市立石山小学校で派遣事業を実施。  平成28年度： 65公演  平成29年度： 64公演(内文化芸術による子供の育成事業は20公演)  平成30年度： 68公演  令和元年度： 72公演  令和2年度： 82公演が予定されていたが、コロナ禍により12公演実施。文化芸術による子供育成総合事業(当初公演)： 30公演  令和3年度：87公演(内文化芸術による子供の育成総合事業は29公演)  令和4年度：82公演(内文化芸術による子供の育成推進事業は9公演)  令和5年度：85公演(内舞台芸術等総合支援事業は9公演)</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>平成26年度 文化芸術による子どもの育成事業 派遣事業  島根県立出雲養護学校</p> <p>平成27年度 文化芸術による子どもの育成事業 巡回公演事業  宮崎県立清武せいりゅう支援学校  事前に学校の先生と連絡を密に取り合うことはもちろん、せいりゅう支援学校さんでは過去に経験のない生徒さん参加演目(白狐の嫁入りなど)のリハーサルを行いました。車椅子などに寝たきりの生徒さんが多くいらしたので、体験で生徒さんが前に出る際の動線を事前に確認しました。また楽器体験の際も撥で怪我をしないよう、弊社スタッフのみでなく担当の先生の補助を頂きながら、三味線や太鼓の音色を味わって頂きました。</p> <p>平成29年度 文化芸術による子どもの育成事業 巡回公演事業  滋賀県鳥居本養護学校  小学部から高学部まで年齢層が幅広い参加でした。特に小学部の児童さんが大きな音に驚く可能性があることを、ワークショップ時、担当の先生に確認をしていました。本公演では、通常より早めに舞台設営を開始し、あべやメンバーもいつもより早めに会場入り。担当の先生他、小学部の先生方にも体育館でのサウンドチェックに立ち会ってもらい、トラブルが生じないレベル調整を、音響エンジニアと舞台監督で綿密に行いました。結果、演出効果を損なうことなく、公演後は、児童・生徒さんまた先生方も、存分に楽しめたという評価を頂戴しました。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/RHZ94wM6YJ8">https://youtu.be/RHZ94wM6YJ8</a></p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	



本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 7 名 スタッフ: 4 名 合 計: 11 名	運搬	積載量: 1 t 車 長: 5.3 m 台 数: 2 台
--	------------------------------------	----	------------------------------------

<b>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</b>	<b>前日仕込み</b>		無	<b>前日仕込み所要時間</b>		<b>時間程度</b>	
	<b>到着</b>	<b>仕込み</b>		<b>上演</b>	<b>内休憩</b>	<b>撤去</b>	<b>退出</b>
	8時45分	9時00分～12時30分		13時30分～15時00分		15時00分～17時00分	17時00分
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						
<b>本公演 実施可能日数目安</b>  <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月	7月	8月	9月	10月		
	11日	8日	9日	20日	13日		
	11月	12月	1月	<b>計</b>		<b>113日</b>	
	19日	15日	18日				
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						
<b>児童・生徒の 参加可能人数</b>	<b>本公演</b>			<b>共演人数目安</b>	700人まで		
				<b>鑑賞人数目安</b>	700人まで		
<b>公演に係るビジュアル イメージ</b> <small>(舞台の規模や演出が わかる写真)</small>	各別添に掲載しています。						
	別添1: 本公演演目 別添2: 演目概要 別添3: 児童・生徒の共演、参加又は体験の形態 別添4: ワークショップの実施形態及び内容・その他ワークショップに関する特記事項等						
※採択決定後、図面等の提出をお願いします。							

【公演団体名 津軽三味線 あべや 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	700人まで
ワークショップ 実施形態及び内容	別添4 ワークショップ実施形態及び内容 を参照してください。		
ワークショップの ねらい	<p>レクチャー学習の枠を超えて、音と踊りで体験・体感。</p> <p>実際に楽器に触れることを主体とした体験重視の構成です。“和楽器の音を出すのは、こんなに難しい！でも楽しい！！”という印象が残るよう、解説・ご指導をします。</p> <p>○本事業向けに調達した津軽三味線・銭太鼓・ささら・当たり鉦などを各校に持参。それぞれに触れることで、より和楽器を身近に感じ、親しみをもってもらおう。</p> <p>○アニメーション・写真のデータをふんだんに取り入れたプロジェクター映像を交え、民謡が全国に伝わる様子をわかりやすく解説。</p> <p>○三線(さんしん)・細棹三味線・津軽三味線の三種類を見て、またその音色を聴いて、その形状・特徴の違いを実物で理解する。</p> <p>○クイズ形式で民謡の歌詞に込められた意味や背景を楽しく学ぶ。</p> <p>○津軽三味線の演奏を間近で聴いてもらい、本公演ライブへの期待を高めます。</p> <p>○銭太鼓・ささら・当たり鉦など、特殊な楽器をご紹介します。またそれらを本公演の展示コーナーにも置いて、児童・生徒さんが自由に音を出してもらいます。</p>		
	別添4 ワークショップ実施形態及び内容 を参照してください。		

その他ワークショップに  
関する特記事項等



本事業への申請理由

【公演団体名

津軽三味線 あべや

】

## ①本事業に対する取り組み姿勢

今までのワークショップ・本公演に、さらに磨きをかけて

平成26・27・29年度の巡回公演事業で、中国地方・南九州地方・近畿地方の小中学校で公演を続けてきました。また令和2年度以降のコロナ禍においても、安全な参加型演目への変更や公演時間の調整を行い、コロナ禍以降の4年間で総計50校近くの学校さんの公演を完了しました。どちらでも、「普段なかなか触れることの出来ない津軽三味線・邦楽を生で聴き、さらに日本の民謡音楽を形作ってきた楽器や踊りを“体験”出来て、大変に良かった」というお声を、多数頂戴しました。実際に公演を行う立場として、どのような人数規模であっても、より多くの子どもたちに、より良いかたちで“実体験”を提供できていただろうかと、常に出演者とスタッフで意見を交わしています。

我々は「津軽三味線あべや」が届ける日本の音楽・パフォーマンスに、何より自信と誇りを持っているからこそ、多くの子ども達にとって素晴らしい音楽に触れる機会になってほしいと、毎年、また公演毎に修正や工夫を加えています。

これまでの公演ノウハウを十二分に活かす主体性・能動性を育てるプログラム

○まずは和楽器に触って音を出す。その重さと音色を体感！

三味線・民謡に触れる機会は普段の生活の中であるでしょうか。現在の学校教育でも洋楽器の楽器演奏・体験は充実している反面、和楽器の普及が進まないのが現実です。本事業を通して、和楽器に直に触れてその楽しさを体験してもらいます。

○楽しく参加する民謡の合いの手、皆で唄い踊るソーラン節。

声を出して唄うのは抵抗がある。恥ずかしいな・・・という生徒さんも一緒に楽しめる民謡の合いの手やソーラン節。本来民謡は、気が付くと手拍子をしている、日本人のDNAを呼び覚ますソウルミュージックです。リズムを感じて動くことによってタイミングや間合いを、児童・生徒さんそれぞれが体に吸収します。また何より日本の音が楽しいという感性を育てるきっかけづくりになります。初めてだけ何故か懐かしい・・・感覚が呼び覚まされます。

○民謡の歌詞から学ぶ日本

民謡に出てくる日本語は、その時代の人々の風習や、季節、風景などが織り込まれていて、唄から学ぶことがたくさんあります。また普段の歌い方とは異なる民謡の声はマイクを使わなくても皆様の胸に鳴り響きます。

○日本の音はいつでも日本人の生活の中に生きている。

民謡、和楽器は日本の風土、日本人の心に根付いています。また日本の音は力強さ、胸を打つ響きがあります。ワークショップから本公演を通して、演奏を聴くだけでなく、本物の和楽器を演奏する、一緒に唄うことで、音を出す難しさや重さや肌触りを体験、また民謡を唄える喜びが生まれます。現代はTVやネットの情報ばかりが先に進みますが、そんな時代だからこそ、実際に演奏し唄う機会は貴重な体験となります。

○地元の良さを再発見する！

改善点 本公演までに担当の先生に演奏してほしい“地元の民謡”のピックアップ依頼

→WSまでに子どもたちに“地元の民謡”を調べてきてもらう に変更

本事業の主役である子どもたちが、より主体的に入り込んで民謡に親しめるようにとの思いから、令和6年度からはこのような変更点を加えました。

普段何気なく見ていた山や川などの風景、特産品は、古くから地元の人の心に根差した心象風景であることを知るだけでなく、「“民謡”ってなあに？」という子どもたちの問いは、家族や近隣の人達との会話を生むことでしよう。是非当日は、保護者や地元の方々にもご鑑賞していただき、地元の民謡を通して、活発な交流につながるものになればと考えております。

○校歌から知る周りの風景や、学校の良さ

何気なく歌っている校歌。でもその歌詞に込められた意味を知って歌っている子は、どれぐらいの割合でしょうか。ワークショップでは、あべやメンバーが事前にピックアップした地名や理念・言葉などを本公演までの宿題として投げかけます。そして本公演において発表してもらい、校歌の理解を深めた上で、和楽器とピアノ(代表の児童・生徒さんまたは先生の演奏)のコラボで、その学校にしかない校歌合唱を繰り広げます

本事業に対する  
取り組み姿勢、および  
効果的かつ円滑に実施  
するための工夫

## ②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

### 日本の音は古くない！新鮮で楽しい！楽器体験・メリハリのある番組構成で演出

○「あべや」でしかできないプログラム構成。

サプライズ登場から始まり、お腹に響く太鼓演奏、カッコいい津軽三味線競演、堂々たる尺八、滑稽なドジョウ掬い、みんなで唄う民謡、それらを繋ぐ軽快なMCなどなど。開演からフィナーレまで、隙間なく飽きることのないプログラムを構成します。

○学ぶだけでなく楽しみながら体験をし、日本の音を知る。

ワークショップは音楽教室でなく、あくまでも体験重視とし、その楽しさからルーツや秘められた意味などを知ってもらいます。民謡が様々な地域を渡り、全国に伝わった経緯や、三味線が沖縄・堺・津軽でどのように違いがあるのか。クイズや実物を見て、鮮やかに記憶に残します。

○体育館を迫力あるエンターテインメント空間に変える。

ただ和楽器をステージに配置するだけでなく、垂れ幕や飾り幕などの舞台道具を設営して、ステージをより華やかに彩ります。それに各楽器の音色を最大限に引き出す音響設営を施し、曲調により変化するステージ照明、客席でのパフォーマンスを際立てせる客席照明効果を加えて、全体として体育館に“日本の音ライブ”の異空間を創造します。

リンク先

No.2

【公演団体名

津軽三味線 あべや

】

別添①

# 本公演・プログラム

公演時間：90分

## 津軽三味線・民俗芸能 邦楽ユニットLIVE!



本公演演目

原作/作曲  
脚本  
演出/振付

### 一、白狐の嫁入り

オープニング演出

客席よりサプライズ登場

黒澤明監督の映画「夢」のなかの1シーン「狐の嫁入り」をモチーフにしています。奏者と代表の生徒さんが白狐の面をかぶり、客席後方から登場し、舞台に向かってゆっくりと動いていきます。さらに後ろには虚無僧に扮した尺八奏者が続き、尺八の荘重な音色が客席を抜けてゆきます。その幻想的な雰囲気を見て楽しむのは勿論、ちぐはぐな行列の滑稽さと仕草が客席の笑いを誘います。

【使用楽器】尺八／太鼓



### 二、妖気太鼓

和太鼓

ちょっと怖いけど太鼓の迫力炸裂!

唸るような尺八の音にあわせて鬼の面をつけた奏者が登場します。

その出で立ちのまま、生徒さんの目の前に置かれた太鼓を激しく叩きます。和太鼓＋幻想という不思議な感覚で体育館をより一層非現実的な邦楽の世界へと変えてゆきます。

【使用楽器】和太鼓／尺八



本公演演目  
原作/作曲  
脚本  
演出/振付

### 三、青くとも紅く

津軽三味線&和太鼓&尺八

いよいよ津軽三味線が演奏に加わります。徐々に太鼓と共に盛り上がり、賑やかな演奏を展開します。伊勢音頭と津軽じょんがら節を曲中に入れた楽曲は和の迫力と雅やかさを表現しています。

【使用楽器】津軽三味線／和太鼓／尺八



本格的な邦楽公演スタート！

### 四、嵐

津軽三味線&尺八

体を突き抜けるハイテンポな三味線と尺八の音色

津軽三味線と尺八の特異なコラボレーションです。それぞれの音色の融合が生み出す新しい和の音を追究した創作曲です。

【使用楽器】津軽三味線／尺八



### 五、津軽三味線曲弾き対決

津軽三味線

冴えるフロのテクニク

毎年行われている津軽三味線全国大会で実際に弾かれている技を駆使した対決をご覧ください。実力伯仲の津軽三味線奏者が一堂に介し、体育館を大会会場にみため、それぞれの演奏技術を存分に発揮します。



【使用楽器】津軽三味線



### 六、「関東一番太鼓」

和太鼓

体育館を包む大迫力の重低音！

戦後に確立された現在の和太鼓の世界。その創成期につくられた「大江戸助六太鼓」の流れをくむ奏者によるオリジナル曲。荒々しい和太鼓の中に江戸の粋な小技を組み込んだ、まさに魅せる太鼓演奏です。

【使用楽器】和太鼓、小鼓



体験

### 七、太鼓教室

和太鼓体験

やってみると意外と難しい...楽しい体験！

和太鼓の体験コーナーです。挑戦する生徒さんには最初は簡単なリズムを、徐々に学年でレベルをわけ、複雑なリズムをたたいてもらいます。そして最後には代表の先生に登場してもらい、さらに難しいリズムをたたいていただく体験コーナーです。



【使用楽器】和太鼓

## 八、あなたの街から、日本全国民謡旅!

民謡

ワークショップで紹介した、“あなたの街の民謡”  
覚えていますか?

見慣れた山や川の風景、地元の名産品、古くからの偉人…  
みんなにとっての当たり前の地元の風景は、民謡の世界で  
どんな風に唄われているかな?



体験

## 九、牛深ハイヤ節 (熊本県民謡) 思わず体が動きだす賑やかな曲!

民謡

民謡に触れるステップ2として、唄の合間に入れる「唄囃子(合いの手)」で、みなさんに参加していただけます。

一度練習して、本番では低学年と高学年、生徒さんと先生などに分かれ“さっさあよいよい、よいさあよいさあ”とその威勢を競ってもらいます。

【使用楽器】唄 他

本公演演目

原作/作曲  
脚本  
演出/振付

祭りがやってきた!!

## 十、「安来節〜どじょう掬い〜」(島根県民謡)

神楽パフォーマンス

島根県を発祥とする「どじょう掬い」は、現在  
全国大会が開催される程、日本人が一度は  
見たことのあるパフォーマンスです。飛び出す  
ように現れた踊り手は、様々な滑稽な仕草・  
表情を交えながら独特な踊りを演じます。

【使用楽器】津軽三味線/篠笛/唄/和太鼓



## 十一、江戸寿獅子舞

舞躍パフォーマンス

日本全国にはその地域に根ざした獅子舞があります。その中で江戸  
寿獅子は、その舞を見るだけで御利益があるとされています。後半  
では、獅子が客席を降りて、みなさんの頭・体をかじります。最後に  
舞い手が獅子舞の簡単な説明をします。獅子頭には雄と雌のちが  
いがあるのを知っていましたか?

【使用楽器】太鼓/鉦/篠笛



# 十二、**体験** みんなでソーラン!

## 本公演編

**みんなで踊って唄って、体育館を漁場に変えよう!**

「あべやバンド」に加え、生徒参加! 津軽三味線10名、太鼓5名、唄囃子(合いの手) 踊り、手拍子、全校生徒で、『ソーラン節』を演奏します。WSで練習した事を発揮する 場面です。さらに当方でご用意した各校の大漁旗を代表者が舞台の真ん中で振り続 けます。全員で作り上げる、各校オリジナルの壮大な『みんなのソーランです。』

【使用楽器】津軽三味線/和太鼓/笛/唄



本公演演目

原作/作曲  
脚本  
演出/振付



大漁旗 旗振り係



太鼓隊

三味線隊

**あべやからサプライズ!!**

## 十三、**校歌演奏** ピアノ・津軽三味線・尺八 校歌の歌詞の意味は?

みなさんにとって大事な“校歌”。  
そこには、語り継がれるべき風土や景色などが  
うたわれていることでしょう。  
ここでは、そんな校歌をあべや民謡風にアレンジして  
サプライズプレゼント!  
是非みんなで一緒に歌いましょう!

【使用楽器】津軽三味線/尺八/箏 など



代表の児童・生徒さん(または先生)のピアノ演奏に合わせて、あべやメンバーが邦楽器で伴奏します▲

本公演演目  
原作/作曲  
脚本  
演出/振付

## 十四、津軽じょんがら節

津軽三味線・太鼓・民謡・尺八  
邦楽ユミットクライマックス!

津軽三味線の代表曲「じょんがら節」を演奏します。激しい撥さばき、太鼓の重低音、華やかな民謡を織り交ぜた大曲です。邦楽公演の締めくくりとして、ふさわしい曲を奏者全員で心をこめて皆様にお届け致します。

【使用楽器】津軽三味線／和太鼓／唄／尺八



## 十五、“フィナーレ”銭太鼓

舞踊パフォーマンス  
おめでたい曲で、賑やかにハッピーに終わります!

昔から民衆の楽しみと労働の柔和で唄われてきた民謡は、人前で見せるというエンターテインメント性を追求するものにも発展していきました。その一つがアクロバティックに筒状の太鼓を回す「銭太鼓」です。賑やかな曲に合わせて、二本の銭太鼓を素早く操ります。最後は、児童・生徒さん、先生・近隣の方々の、これからの幸せを祈って、おめでたく華やかにエンディングを飾ります。

【使用楽器】津軽三味線／和太鼓／銭太鼓／唄



※休憩を途中で入れる事も可能です。※実施校さんの実情に合わせて、曲順・曲目を変更する可能性があります。

## 体験・展示ブース

開演前から、  
終演後の余韻まで・7口の演奏を  
聴いた興奮後もご自由にどうぞ!

三線・細棹三味線・津軽三味線を展示  
します。またワークショップで体験した  
銭太鼓やささらなどをご準備しますの  
で、生徒さんだけでなく近隣の方もご覧  
いただき、自由に触って、音を出しても  
らいます。

本公演で使用している

楽器などの展示。

自由に触れて体験できます。

【楽器+“地元ブース”を設置】

地元や県に伝わる民謡の歌詞やその背  
景などを展示します。また各校と相談の  
上、子供たちに伝え残したい物を展示。  
【漁網でも農機具でも、何でもいいです】



▲地域の方と共に地元の民謡や物産等を展示することで  
地元の風土を理解。



▲三味線のルーツを学べるコーナーです。ワークショップのおさらいに!

リンク先

No.2

【公演団体名

津軽三味線 あべや

】

## 別添②

日本の音を響かせ、日本人の心を揺さぶる

## 津軽三味線邦楽ユニット LIVE

## ●体を突き抜ける津軽三味線の響き

○「津軽じょんがら節」など伝統曲だけでなく、幅広い世代でお楽しみいただけるよう、あべやオリジナル曲も構成。

○尺八や和太鼓など他和楽器と、時に溶け合い時に競い合う合奏曲を、効果的にプログラム。

※撥で叩いて演奏する津軽三味線。弦楽器でありながら、打楽器のような迫力と、心地よい独特の高音域を発する津軽三味線の魅力を十二分にお楽しみください。



## 演目概要

## ●自然と手拍子が出て口ずさむ日本人のソウル曲、民謡をたっぷりと

○日本の東西南北の代表民謡の演奏に、客席の手拍子を添えて。

○ワークショップでも体験。北前船に乗り各地に渡った「牛深ハイヤ節」。民謡歌手の唄に合わせ、皆さんの威勢の良い唄囃子(掛け声)が、会場を盛り上げる。

○リクエストにより地元(それを知るのには地域? 県? それとも自治会レベル?)の民謡を演奏し、皆で唄う。口承音楽を通して地元の風俗を知る、またとない機会。



## ●和楽器の王者、尺八の奥深い音色

○奏者により自在に音域と伸びが表現される尺八の音色を、伝統曲またはオリジナル曲で味わう。

※音楽教材で多く扱われる尺八。形は知りながらも実際に、音を聴く機会は少ないと思います。

ソロのみでなく、他和楽器とのコラボや民謡伴奏での活躍にもご注目ください。

※ワークショップでは、代表の児童さんまたは先生が吹いて、その難しさを体感します。





## 演目概要

### ●踊り・舞いのパフォーマンスが、視覚に飛び込む

○滑稽な民舞「安来節」、風情あふれる「江戸寿獅子舞」、ハイテンポな「銭太鼓」。客席を巻き込みながら、和楽器ライブを沸かすパフォーマンスの数々。



### ●和楽器演奏による校歌の合奏

○津軽三味線、尺八、鳴り物が奏でる校歌演奏。小学校1年生から中学校3年生まで全員が知る母校の校歌を、和楽器演奏をバックに大合唱。

○校歌の歌詞に込められた地元の風土や学校理念を、ワークショップから本公演を通して、みんなで知り、あべや演奏・全員合唱で再発見します。

### ●あべやと児童・生徒全員で創るみんなでソーラン

○運動会発表など、皆が慣れ親しむ「ソーラン節」。

○代表者の演奏、あべやの合奏、全員の手拍子・唄、そして“オリジナル大漁旗”。各校の独自性を最大限に引き出しながら体育館に、北の漁場を創り出す。

じっくり聴く  
迫力を体感する  
一緒に唄う  
実際に体験で演奏する  
躍る祭りを感ずる・・・

邦楽・民俗芸能の魅力を、余すことなくお伝えするよう、上記の内容をメリハリある曲順で構成します。

※休憩を入れる事も可能です。

※実施校さんの実情に合わせて、曲順・曲目を変更する可能性があります。

リンク先	No.2	【公演団体名 津軽三味線 あべや 】
<p>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</p>	<p><b>別添③</b></p> <p><b>ワークショップ</b></p> <p>○実際に音を出してみる！</p> <p><u>触れるチャンスが少ない津軽三味線。実際に持って撥で弾いてみよう。</u>          普段の生活では津軽三味線の弦を弾いて音を出す機会は皆無に等しいと思われます。プロの演奏を聴くだけ観ているだけでなく、児童・生徒さん自身がその重さを感じ、演奏の難しさを体験して、理解を深めてもらいます。</p> <p><u>さらさら・あたり鉦・銭太鼓・筥など民俗楽器をご用意</u>          弦楽器の三味線・打楽器の太鼓だけが日本の楽器ではありません。先人の工夫から生まれた様々な音が出る道具があります。それらを展示し、自由に触って音を出してください。</p> <p>○クイズから楽しく知る民謡</p> <p><u>あべやメンバーによるプロジェクター投影とコミカルなトークのクイズ</u>          北前船が佐渡、津軽の各港を巡りながら、全国に唄を伝えた変遷など、映像・トークを駆使して、立体的に理解してもらいます。</p> <p>○児童・生徒さんのリクエストを即興演奏</p> <p><u>児童・生徒さんから自由に希望曲を募る</u>          ポップスから演歌まで、なんでも演奏？！します。</p> <p>○尺八の難しさを体感</p> <p><u>尺八と同じような音がでるか、全員で挑戦。</u>          尺八プロの演奏 ⇒ 代表の先生が尺八を吹く ⇒ プロがレクチャー ⇒ 再度先生がチャレンジ ⇒ 児童・生徒さんは自宅でペットボトルやリコーダーで、尺八風の音に挑戦。          プロの演奏を真似て、自分たちで音を出す楽しさを体験していただきます。</p> <p><b>本公演</b></p> <p>○サプライズ演出！「白狐の嫁入り」に代表の児童・生徒さんが出演！          あらかじめ選抜された3名の児童・生徒さんが、邦楽ライブのオープニング「白狐の嫁入り」の出演者として、客席中央を歩きます。</p> <p>○太鼓を叩く          プロの太鼓奏者が使う太鼓を何名かの児童・生徒さんに実際に叩いてもらいます。練習無しでの演奏が即興的な楽しさを引き立てます。</p> <p>○地元民謡を聴く・唄う！          各校さんに演奏希望の曲を伺い(リクエストがない場合でも、その地域の民謡を当方で選抜してご披露します)、その民謡を、あべやが唄い、津軽三味線・尺八・太鼓で演奏をつけます。得意な人は生徒さんでも先生でも、また近隣の人も舞台上で唄いましょう。</p> <p>○民謡に参加          一度は聴いたことのある曲に合わせて、手拍子と唄囃子(合いの手)で参加し、会場全体で民謡を楽しみます。</p> <p>○日本人だれもが知る「ソーラン節」を、全員参加で完成！          津軽三味線・太鼓を、代表者が演奏。さらに雰囲気を出すために、サプライズで用意した各学校オリジナル大漁旗が、舞台上で大きく振られます。他の児童・生徒さんは、元気な合いの手と唄で盛り上げる、全員参加のソーラン節。</p>	



リンク先

No.3

【公演団体名

津軽三味線 あべや

】

別添④

# ワークショップ・プログラム

公演時間：90分

プロジェクトと楽しいお話で進行します!!

オリジナルで作成した映像を使用しながら、  
お兄さんたちの楽しいトークで進行します。

とにかくさわって体験!

みんなで、はあ〜どっこい!

## パート I 津軽三味線

### 一、津軽三味線の音色を楽しむ まずは一曲、ご挨拶!

#### ○津軽三味線の演奏

まずは五感に響く津軽三味線の“生音”をお楽しみください。

### 二、津軽三味線ってなあに? プロジェクト上映

#### ○津軽三味線を知る(解説)

何の動物の皮や角でできているの?津軽三味線とはどこから生まれたもの?  
津軽三味線のルーツとは?などなど他の三味線との違いをわかりやすく解説。  
(プロジェクトを用いて、実物とあわせてわかりやすく解説)

沖縄



沖縄三味線「蛇」

細大



三味線(細棹)「猫」

津軽  
青森



津軽三味線(太棹)「犬」

#### ○三味線の弾き比べ!聞き比べ!(三線(さんしん)・細棹三味線・津軽三味線)

日本の代表的な三味線をご紹介します。大きさも素材も異なります。また音色・奏法もそれぞれの三味線が生まれた風土や文化を反映して、全然違うんですね。

ワークショップ  
実施形態及び内容

### ○ 津軽三味線、実は組み立てて使用する楽器



プロが使用する津軽三味線は組み立てが必要です。  
津軽三味線を組み立てる様子を動画で分かりやすく  
ご説明します。

僕たちが  
説明するよ!



START!



① 棹と胴を組み合わせる



② 弦を張る

③ 駒を立てる

④ 弦を伸ばす

⑤ 調弦をする



COMPLETE!



## 三、リクエスト演奏コーナー

その場で児童・生徒さんから、聴きたい曲のリクエストを受けます。  
ポップスから演歌まで何でもOK!?

でも本当はすごく難しいんですよ!

津軽三味線は3本の弦を独自音階で演奏する楽器で、ギターのようにコードやドレミで演奏できません。ポップスを弾くとなると、通常使用しない棹の場所を押えて音を結びつけていくのです。



違い分かったかな?

## パートⅡ 民謡

### 四、民謡ってなあに？ プロジェクター上映

#### ○民謡を知ろう！（解説）

日本全国津々浦々に民謡はあります。その数は数万曲とも数十万曲ともいわれます。プロジェクターに日本地図を投影して、各地域の民謡またその地方の方言や風習などを紹介します。



#### ○民謡は旅をする?!（北前船は物だけでなく、唄も運んだ!!）

九州(天草)の漁師達の掛け声にリズムが加わったといわれる「民謡ハイヤ節」。日本海、津軽海峡、太平洋を渡る「北前船」を介して、それぞれの生活の中に定着し、その地域ごとの変化を遂げた民謡となっています。牛深ハイヤ節、佐渡おけさ、津軽アイヤ節など実際に演奏して同じ曲である民謡がどの様に地域によってアレンジされたのか、プロジェクターを用いながら明快に解説します。民謡が地域風土により変化することを深く知ることができます。

ワークショップ  
実施形態及び内容



元は同じ曲が旅をすると、到着した場所で違う曲になる！  
牛深ハイヤ節→佐渡おけさ→津軽アイヤ節→阿波よしのこ

「牛深ハイヤ節」は本公演において、プロの演奏と、児童・生徒さんの手拍子、合いの手を合わせて賑やかに演奏します。

ワークショップ  
実施形態及び内容

## ○民謡クイズ!



ア. **だいろやーだいろだいろ**  
**角出せだいろ**  
角を出さぬと曾根の  
代官所に申し上げるが  
いかだいろ

①牛 ②かたつむり ③奥さん ④カブトムシ

A. ② **かたつむり!** 岩室甚句(新潟民謡)



プロジェクターを使いクイズ形式で民謡を楽しみます。

正解はメンバーが唄って答えます。

## 地元を発見!!

### 五、あなたの街の民謡大調査!

日本全国にある民謡は全部でなんと…何万曲とも何十万曲とも!

そんな沢山の民謡の中で唄われているのは、恋しい故郷の風景やみんなが大好きな食べ物、街の誰もが知っている偉人などなど。

そしてそんな民謡にはあなたの街にもきっとあります。ワークショップまでに探してきて、どんなに民謡があった教えてください。

ワークショップまでに  
見つけた  
地元の民謡を教えてください



〇〇節って民謡かな?

大きな川があるから、  
それを唄ってるかも?

△△の出身地だよ

〇〇がすっごく美味しいよ!!

みんなの地域には  
どんな民謡があるのかな?  
おうちの人なら  
知っているのかも!?



## パートⅢ 体験コーナー

### 六、どうやって“音”は鳴る？～民謡楽器4兄弟～

ここでは実際に民謡で使われる代表的な楽器をご紹介します。

人々の暮らし・生活と直結し魂をゆさぶる“民謡”と一緒に発展してきた民謡楽器、その音の鳴り方は素朴でありながら、とても個性的！

実際に手で触れてみながら、民謡の世界を実感してください。

#### 気鳴楽器

管に息を吹き込んで演奏する楽器



#### 膜鳴楽器

筒やおわんの形をした胴体に貼られた膜（ヘッド）をたたいて音を出す楽器



鳴

#### 弦鳴楽器

胴体に張られた弦の振動によって音を出す楽器



#### 体鳴楽器

弦や膜などを用いることなく、楽器そのものを「たたく」「こする」「ふる」「うちあわせる」ことによって音が出る楽器



### 七、津軽三味線を弾こう！

普通の生活では触れるチャンスがない津軽三味線。実際に抱えて、撥を持って、そして弾いてみましょう。







▲津軽三味線を体験する様子



叩こう!



触ろう!



踊ろう!

ワークショップ  
実施形態及び内容

## ワークショップの様子



演奏



三味線聞き比べ



民謡が旅をする



三味線の説明

## パートⅣ 本公演に向けて

### 八、みんなでソーラン! ワークショップ編

一度は聴いたことのあるソーラン節。

踊り方と「合いの手(掛け声と手拍子)」を練習します。

本公演

あべやチーム+生徒代表三味線チーム+生徒代表太鼓チームの演奏に、  
ワークショップで練習した踊りと合いの手を入れて、  
全員参加の大ソーラン祭りを繰り広げます。



#### ハードッコイ



ヤーレン ソーラン ソーラン ソーラン ソーラン ソーラン



#### ハイハイ

鯨来たかと 鵜に問えば わたしゃ立つ鳥 波に聞け



#### チョイ



ヤサエ エンヤンサー ハァーア ドッコイショ



ドッコイショ ア ドッコイショ ドッコイショ

\* ■は合いの手

ワークショップ  
実施形態及び内容